



オーストラリア直送レポート

Vol.4 2025.8.13 登校3日目

ドリップストーン校グループ／教育委員会社会教育課 栗栖

吉備中学校 平野

パーマストーン校グループ／教育委員会社会教育課 児玉

八幡中学校 熊ノ郷

[ドリップストーン校グループ]

●8月13日(水)の主なスケジュール

ドリップストーン校に初登校 → テリトリー・ワイルドライフ・パーク

月曜日・火曜日は一日ドリップストーン校で授業を受けさせてもらいましたが、今日はテリトリー・ワイルドライフ・パークまで遠足です。ホストファミリーの生徒も一緒に行ってくれるようで、学校で合流し大型バスに乗り込みました。

街中を抜け、自然が広がる真っすぐの道を進み、約45分で目的地まで到着です。テリトリー・ワイルドライフ・パークは、ノーザンテリトリーに生息する1,000匹以上の動物を集めたとても大きな動物園で、各ポイントに建物（飼育施設など）があり、電動バスに乗って移動し、徒歩でいろいろ見て回ります。



初めに水族館のような施設で、バラマンディやワニを見ました。日本にいない種の魚や水槽にいたワニが3mほどの大きさがあり、生徒たちも興味津々に見学していました。次に見学したのが、さまざまな鳥のショーです。ここでもエミューなどの見慣れない鳥たちが柵の中を歩き回ったり、頭の上を飛んで行ったりしていきました。午前中は日差しは強いですが、それほど気温は高くなく、乾燥した風が吹き、窓のない電動バスは乗っていて、とても心地よく感じます。



お昼ご飯の前に、スタッフの方が「+special encounter」の大きな 2 種類の蛇を持ってきました。希望する生徒に手に持たせてくれたり、首に巻いたりし、蛇が苦手な生徒は一步下がり様子を見ていましたが、多くの生徒が積極的に参加していました。



昼食のサンドウィッチを食べてからは、飼育区域の鳥や夜行性動物などを観察しました。午後になるとより日差しも強くなり、歩き疲れた様子の生徒もいましたが、最後のお土産コーナーでは、各々、プレスレットやアボリジニアートのキーホルダー、ジュースやお菓子などを楽しそうに買っていました。もちろん価格表示はオーストラリアドルで物価も違います。日本円だといくらなのかを計算したり、会計なども、ドキドキしたりしながら済ませたのではないのでしょうか？



海外研修も今日で折り返しです。オーストラリアでの数日間で、様々な面でほんのささいな違いから大きな、根本的な違いなど、現地だからこそ気づき、感じることができていることがあると思います。海外研修の残り半分の期間、話す内容や英語をある程度事前に準備するなどすれば、より良いコミュニケーションをとることができると思います。体調面に気を付けながら、悔いの残らないように過ごしてほしいです。生徒たちに期待しつつ、引き続き我々も全力でサポートをしていきます。

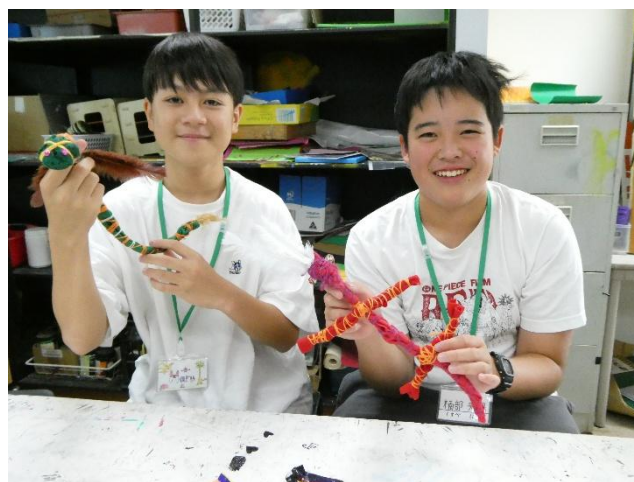


[パーマストン校グループ]

8月13日（水）の主なスケジュール

高等部キャンパスに登校 → 授業（美術） → 校外学習（軍事博物館・マングローブウォーク・ダーウィン市街地散策） → パーマストン市長訪問

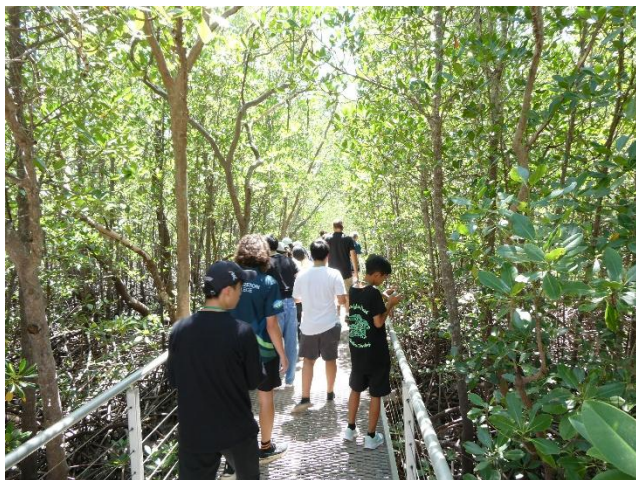
今日の1時間目は、美術の授業でした。アボリジニの伝統美術品の製作手法を用いて、好きな動物を作るというものでした。最初は何を作ればいいのか戸惑っていましたが、材料のフェルトや毛糸を手にとると、インスピレーションがわいてきたのか、研修生はそれぞれ製作をすすめていきました。短い時間でしたが、ドラゴンやワラビー、クラゲなど、たくさんの個性的な作品が完成しました。授業中にも現地生徒が研修生にお菓子をくれる場面がありました。その生徒はYouTubeで日本語を勉強しているそうで、日本語で研修生たちに声をかけてくれました。パーマストンに来ると、日本に興味のある生徒の多さに驚かされます。



次は、大型車に乗り込み軍事博物館に向かいます。ここでは、過去の戦争のこと、さらには戦争時の日本とダーウィンの関係について学んでいきます。展示室内での動画鑑賞を終えると、研修生は少し表情が曇っていました。戦争について違った視点で見ることで、改めて考えさせられ、研修生それぞれ複雑な感情を抱いたようです。

軍事博物館をあとにすると、マングローブウォークという、遊歩道を歩きました。ダーウィンでは海面の高さの差が干潮と満潮で8mにもなるそうで、海の近くにはたくさんのマングローブが生育しています。訪問時は干潮の時間帯だったため、マングローブの根本周辺は泥がむき出しになっていました。

目をこらして見ると、泥の上をピョコピョコ跳ねる生物がいました。これは「Mad Skipper」というそう（日本でいうムツゴロウのような魚）、名前を気に入ったのか、見つけるたびに研修生からは「マッドスキッパー！」という大きな声が聞こえてきました。



きれいなビーチのそばで昼食のサンドウィッチを食べてから、ダーウィン市内のお店で日本へのお土産を買いました。オーストラリアに来て初めて大きなビルのあるエリアに来た研修生も多く、想像していたより都会なことに驚いていました。いつもなら学校が終わる時間ですが、今日は午後3時からパーマストン市長を表敬訪問します。市長直々にスライドを使って、パーマストン市のことを丁寧に説明してもらい、それに対して研修生たちは積極的に質問をしていました。団長からパーマストン市長に手土産を渡し、町同士の国際交流への取り組みに感謝を伝えました。



明日は、丸1日学校で過ごす日ですので、じっくりと現地生徒と交流を深めてもらいたいです。

